

1,000分の1秒を争う
僕らの仕事にとって、
クルマの表面がキレイに
なっていることは
とても重要だと思っています。

2013年のSUPER GTレースでは、同じチームとして#37 KeePer TOM'S SC430と良きライバルとしてのぎを削った#36 PETRONAS TOM'S SC430。そのドライバーの1人が中嶋一貴さん。昨年10月6日(日)にオートポリス(大分県)で行われた第7戦では見事優勝、最終ポイントランキングは3位という優秀な成績を収め、華々しい活躍をされました。

中嶋さんのクルマにクリスタルキーパーを施工して約1年。2度目の施工をさせていただくとともに、クリスタルキーパーの感想やレースに対する想いを語っていただきました。



中嶋一貴

KAZUKI NAKAJIMA

雨が降っても、汚れが残らず
キレイな状態を
キープできました

基本的にクルマを運転することが好きで、移動もほとんどクルマですし、どこかに遊びに行く時もクルマで行くことが好きですね。自分1人とか友達と一緒に自分たちだけの空間になつてあまり気兼ねをしなくてすみ、時間を気にせず自分たちのペースで動けますからね。

いいながら、コーティングは一度もやったことがなくて。洗車はガソリンスタンドでやってもらつて、気が向いたらワックスをかけるくらいで、1年前にクリスタルキーパーをかけ

たのが、はじめてのコーティングだったんですよ。クリスタルキーパーをかけたときの印象は、やはりツヤや輝きが全然違うということですね。

それまでは雨が降つたりすれば、すぐに汚れてしまうイメージがあつたんですが、すぐく水をはじくので驚きました。雨が降っても走ると風で飛ばされて、汚れも残らずキレイな状態をずっとキープできていましたね。そんなに頻繁に洗車に出してはいたわけじゃないですけど、1年経つても水はじきは変わりませんでした。こまめに手入れする方ではないので、ワックスをかける手間などが省けて、助かりましたね。

クリスタルキーパーで
クルマの表面の
空気抵抗を減らし、
メンテナンスの時間も短縮

SUPER GTで僕が乗っていたPETRONAS TOM'S SC430とスーパーフォーミュラのクルマにクリスタルキーパーをかけていただいたんです。他のクルマと比べて格段にキレイなのはもちろん、メカニックの視点からいうと絶対的に汚れが落ちやすいみたいです。



初回のクリスタルキーパー施工から1年。2度目の施工をさせていただきました。「また新車以上のツヤと輝きが戻ったようで気持ちいいです」と中嶋さん。



2013年SUPER GT「KeePer TOM'S SC430」のレーシングドライバー伊藤大輔選手(写真右)とアンドレア・カルダレリ選手(写真左)

フォーミュラのクルマは特に、1000分の1秒を争う世界なので、ちょっとした空気抵抗なども影響してくることはあると思います。本当に細かい部分を突き詰めていく僕らの仕事にとって、クルマの表面がキレイになっていることはとても重要だと思っています。

できることはすべてやるというのがレースの世界ですからね。時間も限られているので、メカニックのメンテナンスの時間にしても短縮できるのも大きな利点だと思います。

大輔さんはお兄さんの存在。
アンドレアには若さゆえの
モチベーションを感じます

KePer TOM'S SC430の伊藤大輔さん、アンドレアとは、スポンサーが

違つても同じチームなので、SUPER GTのレース中、移動から全部一緒に過ごしてきましたね。

大輔さんはチームの中では先輩で、晩ごはんを食べに行く時とか、どこかに出かける時とかは基本的に大輔さん任せ。お兄さんの存在ですごく助けてもらっています。イタリ

